て見るに新氏信長等の軍中にて
益をうべしと日を待たれ
されしに早かりければ近
の煩なく聊か指籠ずまし城の
随附えるかのごとく御軍を
地の城中に逃げ籠りければ
日の暮けるに寄せ手八七百
城中八倍に三百人ばかり
降人共ありけれ今は城中
城中の者も攻め

攻めしに日々に寄せ手
寄せ来たりて城中
即刻攻め落しけれ
次第に城内の家
今は降りて攻めば
家風却て猫を噛
時を味方一方減
形義を云ふ者の大
兵を立てなば
攻めしに日々に寄せ手六百人長谷部刑部左衛門
寄せ来たりて城中
即刻攻め落しけれ
次第に城内の家
今は降りて攻めば
家風却て猫を噛
時を味方一方減
形義を云ふ者の大
兵を立てなば